

■ 日向市景観審議会委員名簿及び開催経緯

●委員名簿

氏名	職名	
出口 近士	学識経験者	宮崎大学工学部准教授（会長）
瀬川 洋一郎	学識経験者	三日月スタジオ代表
都甲 欣一	学識経験者	日向市若山牧水顕彰会会長
黒木 和政	学識経験者	元日向市史編集委員
日高 基秀	民間団体	日向商工会議所会頭
田崎 登保	民間団体	日向市観光協会会長
川村 嘉彦	民間団体	日向農業協同組合代表理事組合長
轟 猛	民間団体	耳川広域森林組合代表理事組合長
是澤 喜幸	民間団体	日向市漁業協同組合代表理事組合長
工藤 久昭	民間団体	九州電力株式会社日向営業所長
木村 稔	民間団体	株式会社 NTT 西日本宮崎支店日向エリア統括部長
近藤 正美	民間団体	宮崎県建築士会日向支部長
加藤 信一	民間団体	宮崎県造園緑地協会理事日向支部長
西村 修	公募委員	
森本 敦子	公募委員	
吉田 嘉苗	市民団体	日向市南部振興会会長
東 均	行政機関	国土交通省延岡河川国道事務所長
藤村 直樹	行政機関	宮崎県日向土木事務所長

●事務局

日向市建設部まちづくり政策課

●審議会開催経緯

開催日	開催場所	主な内容
第 1 回 (H19.10.3)	日向市役所	<ul style="list-style-type: none"> 本市の景観行政への取り組み姿勢 景観基本計画策定、景観条例制定の進め方について
第 2 回 (H19.11.29)	日向市役所	<ul style="list-style-type: none"> 本市の景観形成の基本的な理念、目標について 本市の景観の課題等について
第 3 回 (H20.1.10)	日向商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> 景観まちづくりを推進するための具体的方策について 他分野事業との連結の必要性について

景観形成に係るアンケート調査

1. 調査の概要

- 実施期間：平成19年8月27日～平成19年9月14日
- 発送部数：1,500部
- 不明返却：11部
- 回収率：26.7% (回収部数 398)
- 抽出方法：市内に住民票を有する者より無作為抽出（性別、年代、地区等の条件より均一に抽出）

2. 調査の結果

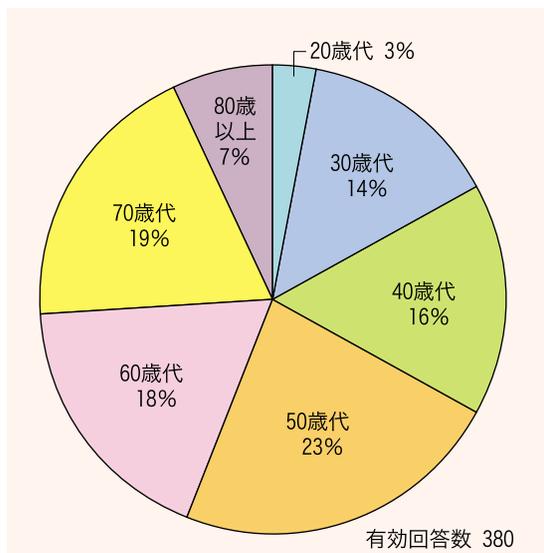


図-1 回答者の年齢

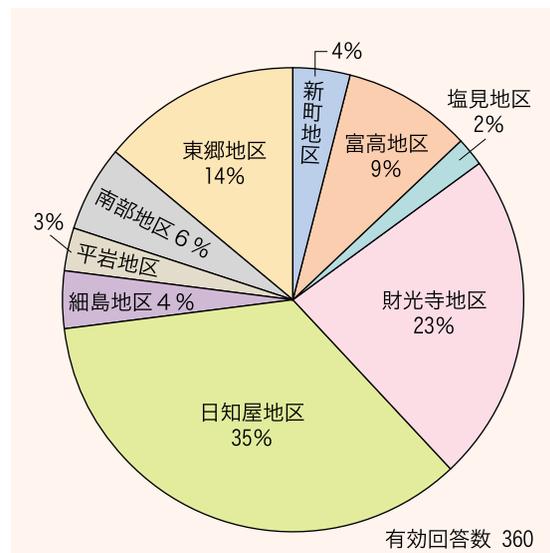


図-2 回答者の居住地区

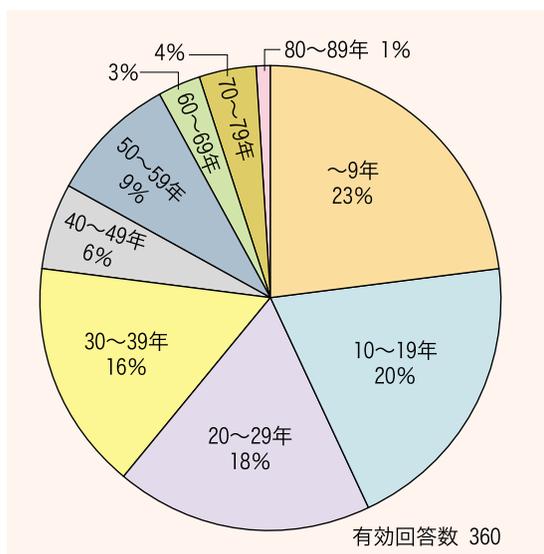


図-3 回答者の居住年数

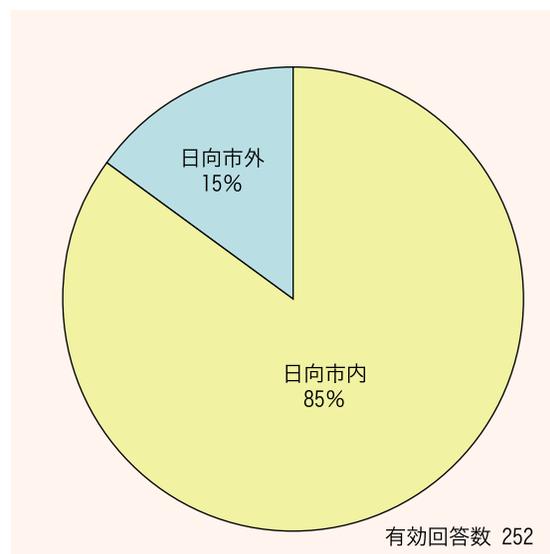


図-4 回答者の通勤地

〔景観づくりの必要性・関心について〕

設問1 『日向市においてより良い景観（風景や景色）づくりに取り組んでいることについて、公共施設や民間の開発や建築行為についてのルールづくりも含めて、どのようにお考えでしょうか？』

全回答者の97%が「より良い景観づくりのための取り組みが必要だ」と考えている。また、この意見に、年齢別、居住地区別にバラつきはほとんど見られない。

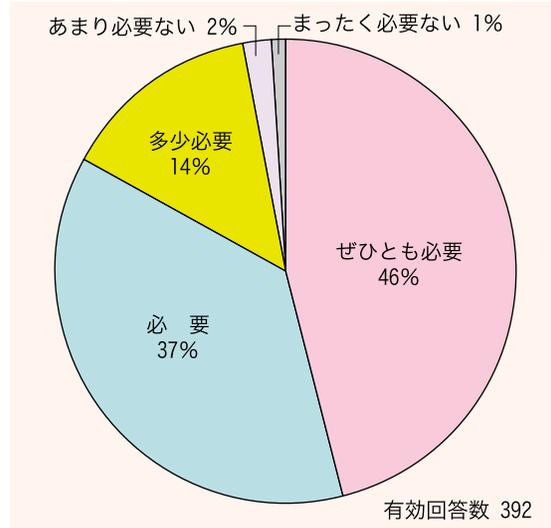


図-5 景観づくりの必要性・関心度

〔景観づくりやまちなみ整備で取り組むべきことについて〕

設問2 『より良い景観（風景や景色）づくりを進めるために取り組むべきことについてどのようにお考えでしょうか？』

『景観づくりやまちなみ整備で取り組むべきこと』として問うた内容に対して、「歴史的建造物の保全や歴史的な景観の整備」と回答した人の割合が22%と一番高く、次いで「主要な幹線道路の特徴ある景観の整備」と回答した人の割合が21%であったが、他項目との差異は小さかった。また、地区別の回答比率も類似していたことから、設問したすべての項目の景観保全・形成政策を、市全体として総合的に推進する必要があると考えられる。

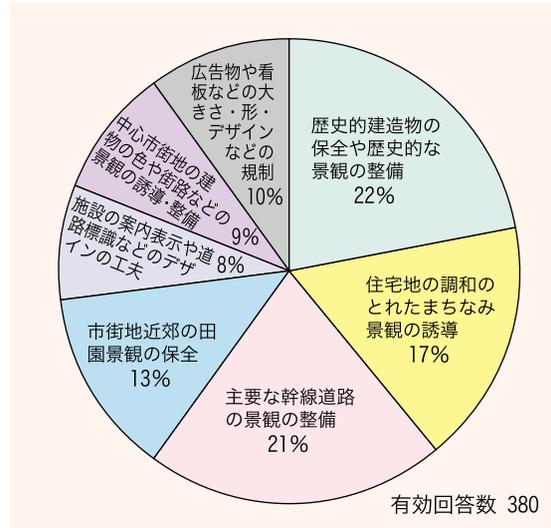


図-6 景観づくりやまちなみ整備で取り組むべきこと

〔景観づくりに重点的に取り組む場所について〕

設問3 『より良い景観（風景や景色）づくりを進めるために取り組むべきことについてどのようにお考えでしょうか？』

『景観づくりに重点的に取り組む場所』については、自然景観の保全とともに、歴史的町並みの保全、市街地の良好な都市景観形成や集落の農村景観の形成を行っていく必要がある。

この際、地区の自然・地理・歴史的特性及びまちなみ特性を十分考慮した景観保全・形成の手法を採用する必要がある。また、景観形成に対する民間企業や市民の協力を得るためには、“良好な景観整備によって日向市への来訪者を増加するためのメカニズムを構築すること、そして、“地域産業（観光や小売業、サービス業など）への経済的にもメリットがある”ことを理解してもらおう活動が必要となる。

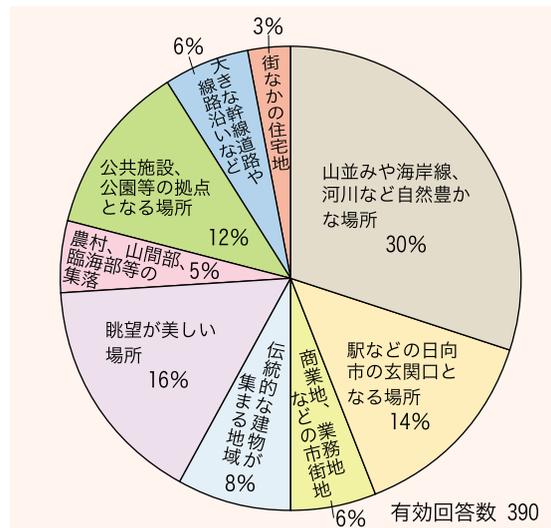


図-7 景観づくりに重点的に取り組む場所

〔景観づくりのために必要と思われるルールについて〕

設問4 『良好な景観づくりを行っていくために、具体的なルールをつくるとしたら、どのようなルールが必要だと思いますか？』

『景観づくりのために必要と思われるルール』について、「敷地の緑化や樹木保全のルール」が必要と答えていることから、緑地保全と敷地などの緑化を推進するルールや支援・助成制度が必要である。また、「看板や広告物などの大きさや設置場所のルール」、「建築物や看板などの色やデザインのルール」が必要と回答している。これらのことから、屋外広告物の大きさ、設置場所、色彩、デザイン等のルールの強化や建築物の色彩やデザインについての規制強化やルールづくりが必要と考えられる。また、沿道の植栽など、“地域住民と協働のメンテナンス方法”を市民と一緒に作る必要がある。

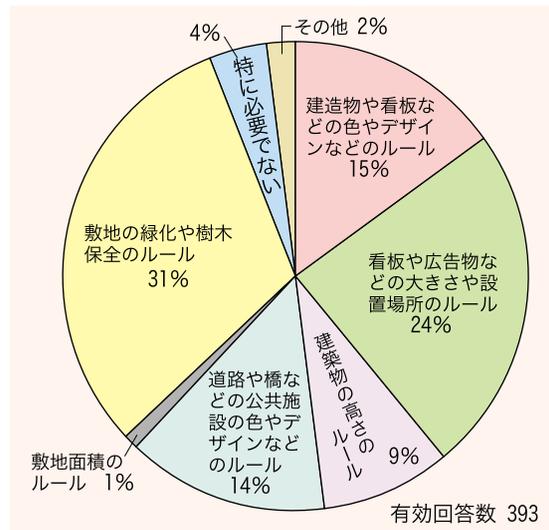


図-8 景観づくりのために必要と思われるルール

〔景観づくりの活動のための支援について〕

設問5 『市民のみなさんによる、より良い景観（風景や景色）づくりの活動を応援するために取り組むべきことについてどのようにお考えでしょう？』

市民は景観を整備することに対するメリットや景観に対する知識を望んでいる。このことから、より良い景観づくりへの助成金制度の設立や景観に対しての学習機会を設けることが必要である。とりわけ、“中高年齢の方には、地域活動などを通じた景観形成活動への助成金制度”など、“子育て世代に対しては、子供の教育を通じた景観学習の実施”が効率的だと考えられる。

また、「行政が市報などにより景観形成活動を継続的にPRする」ことや、“生涯学習教育で景観教育を実施する”などの対応が必要である。

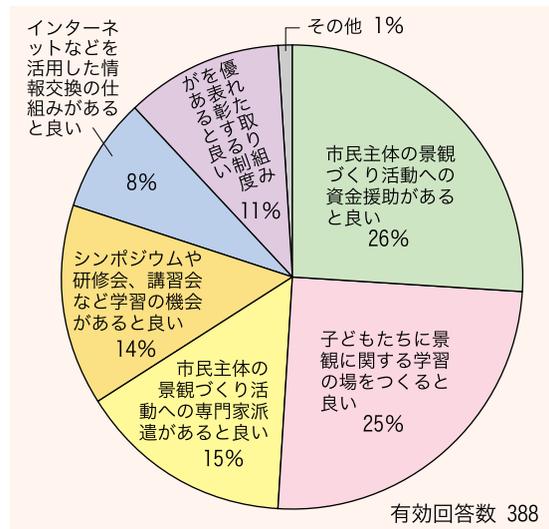


図-9 景観づくりの活動のための支援

〔設問6・景観づくりへの参加について〕

設問6 『市民のみなさんが身近に参加できる景観（風景や景色）づくりの活動はどのようなものでしょう？』

自宅の前、周辺の公園などの身近な場所の清掃への意識が高く、その意識を活用した、住民と協働の景観づくりを行う仕組みを考える必要がある。具体的には、民地の敷地などの清掃・緑化、まちの公共施設の清掃、ウォーキングなどの日常活動を基本にして、これに景観資源の共有、景観学習を付加することによって市民の景観に対する意識を高め、より良い景観づくりを推進することが効果的と思われる。また、行政がこれらの活動を誘導・支援することが必要である。

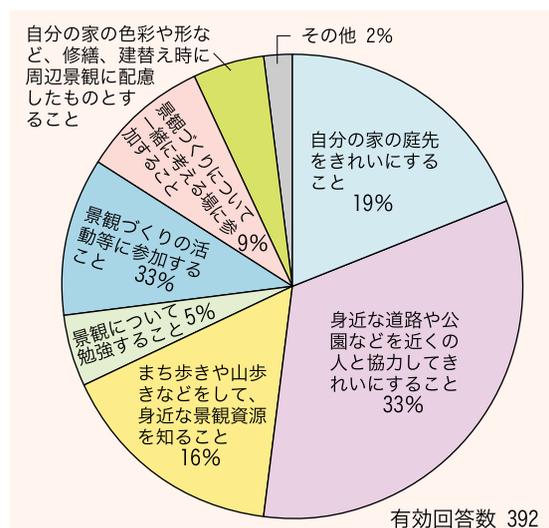


図-10 景観づくりへの参加

〔アンケートの結果の総括〕

1. 『景観づくりの必要性・関心度』に関する回答結果から、景観形成に対する取り組みの必要性を感じている人が多いことが判明した。このことから、景観計画の策定や景観条例の制定に対しては市民の賛同が得られるものと考えられ、より良い景観形成のための仕組みを速やかに作成することが必要である。
2. 『景観づくりやまちなみ整備で取り組むべきこと』『景観づくりに重点的に取り組む場所』の回答結果から、自然景観の保全、歴史的まちなみの保全、市街地の良好な都市景観形成や集落の農村景観の形成などの対策が望まれているという結果が得られた。このことから、景観計画においては、市役所内の各部署が総合的な立場から、景観形成に対して取り組む必要がある。
3. 『景観づくりのために必要と思われるルール』については、「敷地の緑化や樹木保全のルール」、「看板や広告物などの大きさや設置場所のルール」、「建築物や看板などの色やデザインのルール」と回答した人が多かった。このことから、景観計画における『住宅地の景観』、『駅前・商業地の景観』について実効性のある景観形成システムやルールづくりと運用が必要である。また、「道路や橋などの公共施設の色やデザインなどのルール」と回答した人も少なからず存在しており、国・宮崎県の事業も含めて『公共施設のデザイン性』を向上できる景観形成システムは必要であると考えられる。
4. 『景観づくり活動への支援』について、景観に対する知識の向上を望んでいる人が少なくなかった。また、市報などで継続的に景観形成に関する情報や知識を広報してほしいという具体的な意見もあり、今後もシンポジウムなどを積極的に開催して景観形成を生活や経済活動につなげるための広報活動が望まれる。また、子供の教育現場を通じた景観学習の実施や生涯学習教育の一環としての景観学習も必要となる。
5. 『景観づくりへの参加』については、自宅周辺をはじめとした身近な地域への清掃などの意識が高かった。これらのことから、景観協定づくりなどといった地域活動などを通じた景観形成活動への助成制度を設けることや、民地の敷地などの清掃・緑化、まちの公共施設の清掃、ウォーキングなどの日常活動を基本にして市民の景観意識を高揚させる仕組みづくりが必要となる。



日向市は地球にやさしい
環境づくりに努めています。